

★面会のご案内

新型コロナウイルス感染防止のため当院では完全予約制での面会を行っております。予約については、ご家族の代表者様よりお申し込みをお願いしております。

サービス提供日
月曜日～土曜日（祝日は除く）

面会時間
14:00～17:00(30分間)

15歳以上の3名まで面会可能。
マスクの着用をお願いしております。

オンライン予約
はこちらから！



★自動精算機導入のお知らせ New

当院では11月より自動精算機を導入致しました。お支払いについてはクレジットカード支払い（一括払いのみ）と現金支払いが対応しております。お支払い可能時間にご注意ください。

- 自動精算機利用可能時間○
- 平日 8:30～17:00 現金・クレジットカード利用可
17:00～20:00 クレジットカード支払いのみ
- 日曜・祝日 8:30～20:00 クレジットカード支払いのみ



医療法人三星会
茨城リハビリテーション病院
総合相談センター
受付時間：月曜日～土曜日（祝日除く）
8:30～17:00
TEL：0297-48-6257（直通回線）

入院相談窓口

メールでのお問い合わせ
はこちらから！



04_soudanshitsu@ymg-irh.jp

公式YouTube動画やっています



最新動画「入院当日の流れ」公開中!!!

茨城リハビリテーション病院では、患者様、ご家族様が日常生活の中で役立つ医療に関することをでお役立て情報として動画で配信しております。当院ホームページのトップ画面より入っていただき視聴することができます。



編集後記

暑く長かった夏はなんだったのか。朝晩に冷え込みを感じる季節となりました。私自身寒さが苦手で、同じような方もいると思います。寒さ対策で一番効果的なのは、やっぱりランニング。走ることで体がポカポカになります。皆様も是非！

広報委員会



医療法人三星会
茨城リハビリテーション病院



ホームページはこちらから

あさやけ

広報誌

2025

冬号

Vol.7



【特集内容】

- ◆新入職医師の紹介
- ◆インフルエンザ予防について
- ◆障害者施設等一般病棟とは



発行：茨城リハビリテーション病院
広報委員会

令和7年12月1日発行 茨城リハビリテーション病院 広報委員会 あさやけ Vol.7 2025年冬号

FEATURE

01

新入職医師の紹介

今年度、内科常勤医が入職しています。
診療での不安なこと、治療のこと、なんでもご相談ください。

経歴

長野県上田市出身。新潟大学医学部卒業。
信州大学附属病院、国立松本病院、民間病院、自治医大にて各1年間の臨床に従事。
専門は血液内科。
その後、基礎研究者として、理化学研究所（理研）研究員、筑波大学医学部講師、
Walter and Eliza Hall Institute（メルボルン市）研究員を経て、
2002年から当院着任まで理研の研究室長。
当院着任まで以下も併任：2010年～筑波大学医学医療系教授、
2015年～筑波大学グローバル教育院教授、
2023年～理研バイオリソース研究センター副センター長。



中村幸夫先生

診療で心がけたいこと

身体疾患で病院に入院される患者さんは、脳卒中後の後遺症として精神面での異常を発症する
ような患者さんのみならず、ほとんどの患者さんが精神面でも健常な状態とは言い難いことが
多いものです。精神面での患者支援にも最大限の努力を傾注したいと考えています。

FEATURE

02

インフルエンザ予防について

病院には感染制御チーム（ICT）というものがあります。
院内感染を未然に防ぐこと、発生した感染症が拡大しないように可及
的速やかに制圧、終息することを理念としています。

インフルエンザ予防について

インフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。咳やつばなどのウイルスが含ま
れた飛沫を他の人が吸い込んだ際や、手指についたウイルスがその手で触ったものを介して他
の人の手指に付着し、ウイルスが付着した手で口や鼻などを触ることで感染します。
予防策としては、**マスクの着用・咳エチケット・手指衛生・こまめな換気**が有効です。空気が
乾燥すると喉の粘膜の防御機能が低下するため、**適切な湿度(50～60%)を保つ事**も予防に効果
的です。また、インフルエンザ流行前にワクチンを打つことで、発症の可能性を減らすことや
重症化を予防することが期待できます。

ICT（感染制御チーム）が行っていること

当院では、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、セラピスト、事務職員からなる感染制御
チーム（ICT）で院内の感染制御に当たっています。ICTでは、院内の感染状況の把握や、感染
対策に関わるマニュアルの整備、週に1回病院内の感染対策ラウンドを実施し、感染対策の実
施状況の確認や指導を行っています。

FEATURE

03

障害者施設等一般病棟とは

当院は、回復期リハビリテーション病棟/119床と
障害者施設等一般病棟/59床を有しています。
全病床の1/3を占める障害者施設等一般病棟を紹介します。

障害者施設等一般病棟（以下「障害者病棟」）について

障害者病棟とは、
重度の意識や身体の障害、神経難病など進行する慢性疾患により**長期に医療や介護を必要とす
る方を対象にした病棟**です。
また、NASVA病棟も5床保有しており、交通事故で重度の障害を負った方を3年間リハビリを
行っております。
どちらも治療だけでなく、看護・リハビリ・生活支援を多職種で行い、安心して療養できる環
境を提供しています。

茨城リハビリテーション病院の障害者病棟の特徴

当院ではチーム医療を徹底し、
医師・看護師・リハビリテーションスタッフ
が連携して支援します。

- ・積極的なリハビリテーションに加え、
 - ・飲み込みや食事の訓練、
 - ・コミュニケーション機器の活用
- を通じて、患者様の生活の幅を
広げる取り組みを行っております。
また、緑豊かな自然の中に位置し、
患者様が屋外散歩できるコースもあるため、
長期にわたる入院生活でも
季節を感じることができます。



Explanation 解説

「パーキンソン病」について

高齢者人口のおよそ1%が罹患している
とされます。脳内で神経伝達物質の一つ
であるドパミンの働きが不足するため、
体の動きが悪くなる、手足が震える、転
びやすくなるといった運動症状だけで
なく、性格の変化、便秘、睡眠障害、感覚
障害といった非運動症状も多彩に出現し
ますが、治療法が発達しており**適切な治
療とリハビリテーション**を受けることで
症状を軽減させ、長生き出来るよう
なっています。

神経内科 森 アッティラ 先生

入院対象疾患

- ・重度の肢体不自由者
（身体障害者手帳1・2級相当）
- ・脊髄損傷等の重度障害者
- ・重度の意識障害者
- ・筋ジストロフィー症患者
- ・神経難病患者
パーキンソン病
進行性核上性麻痺
大脳皮質基底核変性症
多系統萎縮症
重症筋無力症
筋萎縮性側索硬化症（ALS）
脊髄小脳変性症
もやもや病 など

上記疾患以外でも入院可能です。
まずは当院入院窓口にご相談下さい。